

会議録

令和6年8月21日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和6年度第2回定例会
開催日時	令和6年6月19日(水) 18時30分から21時まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：西原みどり(会長)、小須田厚子(副会長)、辻康一、荒井容子、高井正、荒井茂、石川健、ギログリー江美、小池教之、下坂小百合、青木美紀子、城石雅行、松本静 職員：福所館長、市川事業係長(柳沢)、山本分館長(田無)、根岸分館長(芝久保)、一之瀬分館長(谷戸)、安島分館長(保谷駅前)
欠席者	高橋浩一
議題	1 審議事項 (1) 令和5年度第10回定例会会議録(案)について(資料1) 2 主催事業について (1) 令和5年度公民館主催事業報告について(資料2) (2) 令和6年度公民館主催事業計画について(資料3) 3 報告事項 (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 4 事務連絡及び情報交換 (1) その他 (2) 令和6年度第3回定例会の開催について
会議資料の名称	【配布資料】 資料1 令和5年度第10回定例会会議録(案) 資料2 令和5年度公民館主催事業報告書 資料3 令和6年度公民館主催事業計画書
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
傍聴者	☒ あり(2名) ☐ なし
会議内容	1 審議事項 (1) 令和5年度第10回定例会会議録(案)について(資料1) ●令和5年度第10回定例会会議録(案)について承認 ※令和6年度第1回定例会会議録(案)については1週間以内に事務局から送付されるので、届いてから各自内容を確認し1週間をめどに修正意見を事務局に送ることとする。 2 主催事業について (1) 令和5年度公民館主催事業報告について(資料2) ○A委員 ライフデザイン講座「仕事なんか生きがいにするな～生きる意味を再び考える」(柳沢)には、若い世代の参加もあったようだが、参加者の男女比はどうだったか。 ○事業係長 オンライン参加の約40人のほとんどは顔出し無しだったが、おそらく男女比は6対4くらいだったと思う。 ○A委員 学齢期の子どもがいる人のための講座“ココロとからだを育む「生と性」親子のおはなし”(柳沢)は、平日午前の子どもが学校へ行っている時間に保育無しで企画されているが、一昨年度も昨年度も下の未就学児を市の保育一時利用に預けて参加している方もいたということなの

で、今年度は公民館の保育室で保育が利用できるように検討していただきたい。

○事業係長

今年度は日曜日に保育付きで全3回の連続講座を実施する計画がある。

○B委員

市の保育園の保育一時利用は親のリフレッシュ目的でも利用できる。保育園の一時保育と、公民館保育は違う。公民館保育室で親が子どもを預けることを通していろいろなことを学びながら子育て世代の受講者同士関係を育んでいくことや、子どもたちが交流しながら一緒に遊ぶようになっていくことなどを考えると、3回講座では難しい。せめて5回講座で実施していただけないか。3回と5回では、その差は大きい。5回で企画していただけないか。

○事業係長

5回だと公民館の保育付き事業に参加するハードルを感じる人もいると思う。確かに3回では保護者同士、子ども同士の関係性を作るのは難しいと思うが、学びたいが土日しか学ぶ時間がない共働きの親の学習権の保証という観点で見ると、3回の講座を実施する意味はあると考えている。その場合、いかに安全に子どもを預かるかといった、10回の連続講座の保育とは違ったやり方を構築し、その中で何を大切にしていけるのかを共有していく必要があると考えている。

○B委員

子どもを預けてみてわかることはたくさんある。

○C委員

ライフデザイン講座（柳沢）について、オンライン参加の40人のほとんどは顔出し無しだったとのことだが、事前申込はしてある人たちだったのか。

○事業係長

全員事前申込をしていただいている。令和4年度でオンライン参加者は顔出し必須としたところ申込が少なかった。昨年度から講座の趣旨を考慮し、顔出し必須をやめたところ、多くの申し込みがあった。

○C委員

小学生親子夕方講座“日本の伝統文化「茶の湯」を学ぶ”（田無）の参加費親子1組4千円は高いと計画書の時点で申し上げたが、その後参加費はどうなったか。

○分館長(田無)

市民文化祭のお茶席（抹茶と和菓子）の参加費は1人400円なので、親子2人で1回800円、5回講座なので親子1組4千円と計画書に記載したが、C委員より、参加費4千円は高いと指摘された。その時、田無第一中学校校長の辻委員からは同校での日本の伝統文化の授業では本物に触れることが大切なので、和菓子代だけでも1人1回400円をいただいているとのこともあったが、その後、担当専門員は少しでも安い和菓子店をいろいろと探して、最終的には和菓子代と抹茶代あわせて1人1回300円、親子で600円で、5回で3千円で実施した。

○C委員

現代的課題を考える講座「しあわせココロ学～より輝いて生きるために～」（芝久保）は保育付き講座で、保育を申し込んだ参加者が9人とのことだが、男性の参加はあったのか？

○分館長(芝久保)

女性だけでなく男性も受講できるが、男性参加者はいなかった。

○C委員

中高生が企画する小学生向け防災講座「めざせ！防災マスター！！」（谷戸）について、当日はどのような流れだったのか。

○分館長(谷戸)

講師が考案したカードゲーム式の防災体験カードを使って学び、終わった後に交流もあった。

○C委員

教養講座Ⅱ「『にんげんをかえせ』上映とトーク 草の根パワーによる非核・平和運動のヒント」（ひばりが丘）では、10代、20代の参加もあったようなので、今後若者たちとの関係性も作りながら実施できるとよいと思う。

○D委員

「田無公民館ロビーまつり」(田無)について、報告書によると、「創りあげていくプロセスを経験して団体間の関係性を築く機会とする」とあるが、実行委員会準備会1回と実行委員会2回開催では団体間の関係性を築くには回数が少ないのではないかと。ひばりが丘公民館のひばりが丘フェスティバルの実行委員会に長年関わっているが、何度も実行委員会を開いて話し合いを重ねることで参加団体同士の交流が深まっていくものだ。

○E委員

私は以前の実行委員会の回数がものすごく多い時代の田無公民館まつり実行委員会も経験しているし、谷戸まつりの実行委員会も、市民文化祭の実行委員会も経験している。昔の田無公民館まつりの実行委員会はものすごく負担感が大きかった。参加団体の実行委員の皆さんはその頃からさらに高齢化が進んでおり、負担感が大きいと感じる。準備会や実行委員会でも、負担感があるという声が多く聞かれたので、できることから始めましょうということになった。ロビーまつり当日はものすごくたくさんの人数の来館者があり、出演した人も見に来た人も満足できるまつりとなったと思う。

○C委員

人数が多く集まればいいというものではない。単に負担を軽くすればいいというものではなく、公民館で実施するお祭りとして何を大切にするのか、どんなイベントにしていけるかをみんな考えていくのが重要ではないか。

○分館長(田無)

貴重なアドバイスに感謝する。準備会とまつり当日終了後の振り返りの会も入れれば合計で5回開催している。ロビーを会場に年7回、曜日別活動サークル1日ロビー見学体験会を開催しており、この2年間でロビーでの発表を経験されている団体も多く、さらに曜日を越えて交流できるように1年の終わりの3月に田無公民館ロビーまつりを企画実施している。

○B委員

柳沢公民館で実施している人形劇フェスタでは実行委員会で、柳沢公民館で5年間やってきた内容をマニュアルにして残しておいた方が今後のためにもよいということになり、実行委員会でマニュアルを作成した。そのおかげで、その後に担当職員が人事異動で変わってもそれほど右往左往せずに済んだ。5年後くらいをめざしてマニュアル作りも考えてみてはどうか。

○分館長(田無)

アドバイスに感謝する。5年後くらいにマニュアル作成などもできるような実行委員会になれるよう温かい目で見守っていただきたい。

○C委員

防災講座「いざという時の自助・共助を学ぶ～大地震が起きても慌てないために～」(保谷駅前)の参加者の声に2回目3回目の講義のポイントがわかりづらかったとあるが、どのようなことだったのか。

○F委員

講座に参加したが、3回講座の1回目はとてもよかった。2回目のレスキューバードや避難所運営協議会の話はとても難しかったので、私も避難所の説明をした。3回目は私も関わっている「ほくっとネット」の話などだった。

○C委員

教養講座「音楽はひとつ～ロマ、アラブ、ロシアの音楽を学ぶ～」(谷戸)に書かれている、「内向きではなく広く開かれた事業としたい」という担当の言葉が気になるが。

○分館長(谷戸)

この講座は対面とオンラインのハイブリッドで実施したため、配信は設備面も含めて限界があったという意見も含んでいると捉えている。

○C委員

それでも開催できたのだから内向きではないと思う。

○事業係長

この事業の担当者は昨年度で退職したが、新しいことをやろうという方だった。音楽を通じて世界を見るという企画で、オンライン参加者の中には沖縄の人もいた。その意味で、もっと

グローバルに配信したいという思いがあったのではないかと思います。一方で、地域主体の形成に寄与するという公民館の役割を考えると、相反する部分もあり、担当者の考える講座の広がりや可能性について、もっと議論したかった部分がある。

○A委員

この担当者からの言葉の意味は、多文化とうたっておきながら、地域の歴史や地域の対象の内容の講座がいくつかあることを内向きといっているのだろうか。

○公民館長

その意味もあると思う。この担当は既成概念にとらわれずチャレンジしようとする方だった。

○B委員

ライフデザイン講座(柳沢)はオンライン受講も併用しての開催とのことだが、事前打合せなど工夫したことはあったか。

○事業係長

講師とは1時間ずつ3回ほど事前打合せをした。担当から感じていることをぶつけると熱心に語ってくれた。

○B委員

学齢期の子どもがいる人のための講座(柳沢)について、性の問題など繊細で細かい内容なので、参加者へ事前アンケートを行って抱えている課題を事前に講師と共有できたのは良かったと思う。

○事業係長

事前アンケートによって参加者がどこを聞きたいのか把握し、事前に講師に伝えることができた。担当者と講師の関係性がとても重要だと感じた。

○B委員

小学生親子夕方講座(田無)について、近隣の高校や大学の茶道部の方とつなぐとか触れ合う等の交流があってもいいと思う。

○G委員

高齢者対象講座「在宅医療と人生ノート」(保谷駅前)について、参加者は独居なのか家族と同居なのか夫婦住まいなのか。

○分館長(保谷駅前)

そこまでは把握していない。

(2) 令和6年度公民館主催事業計画について(資料3)

○C委員

サークル公開講座「藍のたたき染めに挑戦！」(柳沢)は、事前打合せをしたのか。

○事業係長

入念に打合せをしている。

○H委員

地域づくりを考える講座「なぜ子どもたちはうつむいて登校するのか～子どもを取り巻く教育環境について考える～」(柳沢)の講師の一人が元公民館職員と書いてあるが、1回目の社会教育出身者が語るというのはこの方のことか。そうだとしたら「元公民館職員が語る」とした方がよいのではないか。

○事業係長

修正する。

○D委員

うつむいて登校してはいないと思うが、学校教育や地域との連携について根本的に考えないといけない時期に来ていると感じており、とても大切なテーマであると思う。今の子どもたちを取り巻く環境を理解したい。

○C委員

趣味講座「初心者のためのウクレレ講座」(ひばりが丘)について、ウクレレは貸し出すのか。

○事業係長

ウクレレを持っている方が対象。コロナ禍でウクレレをやってみようとして購入したが弾く機会がなかなかない方が多くいると聞いている。持っていない方は、講師を通じて安く手に入られるので、その案内をする予定。

○C委員

サークル見学体験会「こうみんかで地域デビュー」（芝久保）について、公民館のサポート体制について知りたい。

○分館長(芝久保)

職員がしっかりサポートしていく。ちいさな展示会や芝久保公民館まつりでもしっかり紹介していく予定。

○C委員

場の提供だけでなくもっと公民館が支えるということも書いてもらえるとよい。

○I委員

社会問題講座「不登校のこどもたちと共に歩む社会」（保谷駅前）について、不登校に悩む保護者が多くいる。何かしらの方法で参加を呼び掛けてほしい。市の教育相談の方は、どうやって解決して学校に結びつなげたか立ち直りの事例を持っているので、そうした方を巻き込んで参加者にアピールしてほしい。

○分館長(保谷駅前)

市の教育相談担当やスクールカウンセラーについては検討させていただく。

○D委員

家は極楽、学校は我慢我慢と感じている子どもたちがいるのだと思う。

○F委員

保護者にとってとても切実。表に出さない苦しみ悲しみがある。参加して話せば気持ちをわかってもらえる場として、教育相談やスクールカウンセラーの人も参加して関わってほしい。

○D委員

親子で楽しむ講座「第1回 西東京市カロム大会」（ひばりが丘）について、ぜひ栄小学校や東小学校や保谷第一小学校にも公民館からチラシを配布するなど広めてほしい。

3 報告事項

(1) 行政報告

○公民館長

令和6年第2回市議会定例会の一般質問にて2点質問があった。1点目は公民館や図書館等の社会教育機関の所管について教育長の見解を問うもので、教育長より、学校教育との連携や専門性・連続性の確保などの観点のもとより、本市では「まちなか先生」など、学校と地域を繋ぐ重要な役割を担っているため、教育委員会が所管している旨、答弁した。2点目は公民館における営利事業について、教育長の見解を問うもので、文部科学省が発出した社会教育法第23条の解釈に関する事務連絡について説明、地域教育力の一層の向上に資するよう、柔軟に運営する旨、答弁した。

(2) 公民館だより編集室報告

- 担当委員より、6月17日開催の公民館だより編集室会議について報告。4面で発行する10月1日号の一面特集で何を取り上げるかについて検討した。

4 事務連絡及び情報交換

(1) その他

- J委員より、谷戸まつりについて報告
- B委員より、「人形劇フェスタ in 西東京」（柳沢）について報告

(2) 令和6年度第3回定例会の開催について

日時：令和6年7月17日(水) 午後6時30分 場所：柳沢公民館 視聴覚室